

Autonomy

独立行政法人
地域医療機能推進機構 (JCHO)



大阪病院

Autonomy

Autonomy、それは自ら考え、自らを律し、最善を尽くすこと。大阪病院では一人ひとりがそんな自律した看護師であることを理想としています。

看護部長挨拶

一人ひとりが学び、自律し、 “豊かな対話”で寄り添う看護を。

当院は2022年に職員、患者さん、地域の皆さまとour Purpose【より最適な医療と温かいところで「あなた」と「地域」を支えます】を共創し動き始めています。そして、日々のCREDO【あしたのしせい+】を大切な価値として、すべての人に選ばれる病院を目指して様々なことに取り組んでいます。看護の質を高めるために互いに学びあう教育体制、看護師として誇りをもって生き活きと働き続けられる環境の中で、私たちと一緒に歩みを進めませんか。

大阪病院 看護部長 田崎弘美



JCHO OSAKA *our* PURPOSE

わたしたちが存在する理由・社会への約束

より最適な医療と温かいところで、
「あなた」と「地域」を支えます

大切な命が生まれるとき
自分や大切な人が病に苦しむとき
ただただ回復を願うとき
命の終わりが近づきつつあるとき

そして、
世の中が危機に瀕したとき

なにかあったときに
頼れる存在がある

ここ大阪の地で
暮らしと健康を支える

その存在であるために
わたしたちだからできることを探り、
磨きつけていく

その人らしさを大切に
多様なニーズに
対応できる医療技術
困ったときに助け合える関
未来に向けて育つ環境

わたしたちは、
より最適な医療と
温かいところで、
「あなた」と「地域」を
支えます

「あなた」と
「地域」を
支えるために…

- ▶ 一人ひとりに寄り添って、より最適な医療を目指します
- ▶ 専門的かつ高度な医療技術を提供できる体制を確保し続けます
- ▶ 未来の医療を支えるプロフェッショナルを育成し続けます
- ▶ 社会の要請・医療ニーズの変化に、真摯かつ迅速に応えます
- ▶ わたしたち職員は互いを支え、高め合い、そして大阪病院は職員を大切にします

JCHO OSAKA *our* MISSION

パーパスを実現するために目指し続けるもの

JCHO OSAKA *our* VISION FOR 2030

わたしたちが
2030年までに創り出したい状態

- 1 わたしたちは、「ありがとう」「選んでよかった」と思える病院をめざします
- 2 わたしたちは、当院の「公的役割」をふまえ、社会の要請・医療ニーズの変化に真摯かつ迅速に応えます
- 3 わたしたちは、健やかな地域づくりのために、個人も病院も共に健やかであるよう努めます
- 4 わたしたちは、「成長実感」と「誇り」を
持てる病院を創ります

あ 温かさ

- ☑ 患者さんや地域に「温もり」や「その人らしさ」を感じながら寄り添えているか？
- ☑ 忙しい時こそ、自分自身や目の前のひとを大切にできているか？

し 真摯

- ☑ 目の前の一人ひとりから「信頼」を得られるように、誠実に接しているか？
- ☑ ニーズを理解し、「迅速・丁寧・公正」に応えることができているか？

た 対話

- ☑ 互いに対話しやすいよう相手を尊重し、「心理的安全性」が高い関わりや環境づくりができていますか？
- ☑ 対話を重ね、「より最適」なことが何かを探り、進化し続けているか？

し 支える

- ☑ 困難なときでも、働く仲間と支え合い互いを高め合っているか？
- ☑ 地域になくってはならない存在の一員と「公的役割」も自覚できているか？

せい 成長

- ☑ プロフェッショナルとして「心・技・体」を磨き続けているか？
- ☑ 自らの成長とともに後進の成長に喜びを持つことができているか？

+ 小さな一歩

- ☑ より良い明日に向けて、わたし(たち)ができる「小さな一歩」を創り出せているか？
- ☑ わたしの一歩

JCHO OSAKA *our* CREDO

わたしたちが大切に
する価値観・行動基準

あしたのしせい+

看護部の理念

地域住民の健康で
幸福な生活を支える看護

看護部の方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、生活の質を高める看護を実践します。
2. 看護の質的向上を図り、地域住民のニーズに応じた看護の提供をします。
3. 多職種と協働し、チーム医療の向上に努めます。
4. 看護職者として感性を磨き、創造性の高い看護の実践に努めます。
5. 自己啓発や看護研究活動を推進します。
6. 人を癒し人を活かす職場づくりに努めます。

求める看護師像

看護職者としての
自律と成長をめざして、
学び続けることができる看護師

教育目標

省察力
と
自己教育力

人間性
と
倫理観

問題解決能力
と
判断力

チーム医療

多様な
ニーズに
応える力

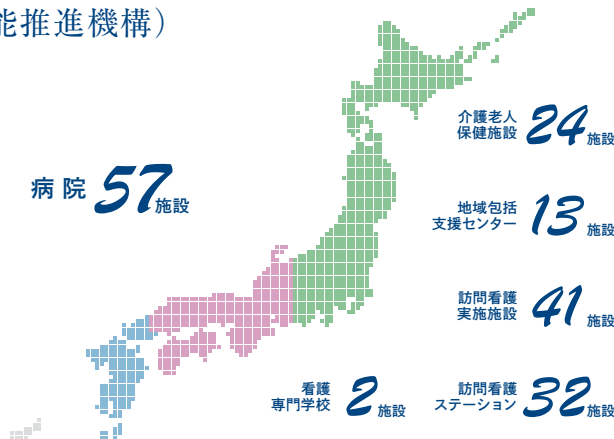
安心の地域医療を支える

JCHOグループ (独立行政法人 地域医療機能推進機構)

JCHOの理念

我ら全国ネットの JCHO は
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め、
安心して暮らせる地域づくりに貢献します

JCHOグループの特徴



全国規模の組織



北海道から九州まで、全国57病院
のネットワークがあります

働く場の多様性



地域の療養生活を支えるさまざまな
場面で力を発揮することができます

充実した教育・研修体制



本部・地区・病院の連携による
充実した教育・研修体制が
整備されています

働き続けるための仕組み



希望をふまえた施設間の
異動や、各種の休暇・
休養制度があります

JCHO大阪病院の概要

許可病床数

505床(一般病床)
ICU: 12床、SCU: 9床、NICU: 6床含む

看護部職員数

約550名

看護体制

急性期一般入院基本料Ⅰ(7:1配置)

看護提供
方式

固定チームナーシング
(継続受け持ち方式)

勤務体制

変則2交代制
日勤8:30~17:15/夜勤16:00~翌9:00

平均年齢

32.3歳

診療科目

39科

小児科・NICU/婦人科・乳腺外科/産科/脳外科・脳神経内科・SCU/循環器内科/心臓外科/腎臓内科/消化器外科/消化器内科/呼吸器内科/呼吸器外科/腫瘍内科/泌尿器科/整形外科/耳鼻咽喉科・眼科・歯科口腔外科/糖尿病内科/感染内科/免疫内科/リウマチ科/皮膚科・形成外科/救急科/麻酔科/病理診断科/臨床検査科/放射線治療科/放射線診断・IVR科/リハビリテーション科/緩和ケア・ペインクリニック科



01 新人の autonomy

ジョブローテーション研修

学生から社会人への移行を円滑にするため2023年から導入しました。入職後、必要な知識のレクチャーと同時に3部署を2週間ずつローテーションし、看護実践を行います。研修での学びと現場での学びについて同期同士で話し合い、看護の意味づけを行います。また、自分にあった部署を考える機会となります。

ジョブローテーションの具体的な方法

4月1週目	4月2週目	4月4週目-5月1週目	5月2-3週目	5月最終週
オリエンテーション	ジョブローテーション①	集合研修 ジョブローテーション②	ジョブローテーション③	オリエンテーション
入職後、病院・看護部から必要な知識についてのレクチャー/基本的な看護技術の演習	新人看護職員の希望を考慮した3部署を2週間ずつローテーション/病院に慣れる、社会人としての自覚を持てるようにする/オリエンテーションで学んだ看護技術を中心に実践	配属場所の決定 新人看護職員と各部署の意向調査を行い決定します。		

配属前の各部署での学びが今の仕事全部に繋がっています。

ジョブローテーション研修で経験した部署に配属になりました。研修中に病棟の雰囲気や1日の流れを知ることができていたため、配属時の不安はかなり軽減されました。研修中は多くの先輩と接する機会があり、学びの多い時間でした。

2024年入職 8階東病棟(母子医療センター)



プリセプター制度

看護師一人ひとりが、大阪病院にとって大切な宝物です。だからこそ私たちは専門職業人として、人が人を育み、称え、導くことができる組織風土を大切にしています。そして、全てのスタッフが真珠の成長を守る母貝のごとく一体となって新人を包み、強く・美しく・光り輝く看護師に成長できるように Pearl System と名付けた支援体制をとっています。



- 新人看護師** 2024年入職 8階西病棟(小児科)
入職すぐ、慣れない環境の変化や日々の業務に追われ、焦りや不安があった私に気づいたプリセプター看護師が声をかけて下さり、相談できました。年齢も近く、仕事・精神両面のサポートをして頂けるのがとても支えになっています。
- プリセプター** 2022年入職 8階西病棟(小児科)
年齢の近い相談役として、自分自身が新人の時に感じたことを思い出しながら接するようにしています。例えば珍しい疾患や初めての処置では事前の確認を行い、安心して挑めるようにするなど、先回りして不安を消していけるようにと思います。
- アソシエイトナース** 2019年入職 8階西病棟(小児科)
プリセプターと一緒に新人サポートに関わっていき、より先輩の視点から指導や不安の解消に取り組んでいます。時にはプリセプターから新人への指導や声かけの方法について相談を受けることも。3人で成長していきたいと思っています。

新人研修

入職時研修、OJTに加え、1年に4回(3・6・9か月・1年目)、1日研修を取り入れています。感染・安全・コミュニケーション等のプログラムや、同期と様々な思いを語り合う場になっています。元気をもらって各職場に帰っていく研修生が多いです。

一人ひとりの進度やスケジュールに沿った個別的教育計画表を作成し、状況に合わせて運用しています。



新人研修について詳しくはこちら

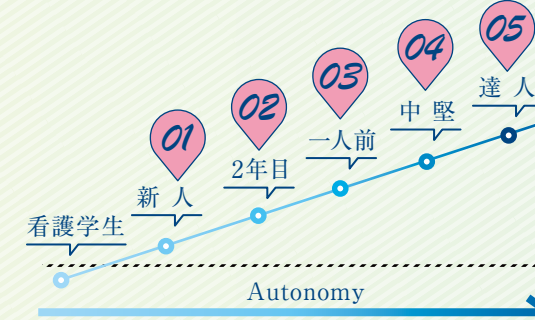


Pearl System

- 看護師長・副看護師長
- 実地指導者・スタッフ
- アソシエイトナース
- 新人プリセプター

ラダー制度

看護師は日々の患者さんとの関わりや仕事を通して成長していきます。クリニカルラダー制度はこの考え方を基本に、臨床看護実践能力の到達目標(評価基準)を、段階ごと(ラダー)に示したものを、看護師個々の臨床看護実践能力や意欲に焦点を当て、個人のキャリアを尊重した育成のためのシステムとしています。



ラダー別教育計画

教育理念

私たちは看護職者としての自立と成長を目指して学び続ける

JCHO大阪病院では、キャリアの段階に応じた継続的な教育を実施しています。自律(Autonomy)した看護師を目指すために必要とされる倫理的実践能力/看護を臨地で実践する能力/組織的役割遂行能力/教育・研究の4つの能力をバランスよく身につけるための充実した教育体制を整えています。また、eラーニング、Web研修等自分に合った生活スタイルで学びを深める事が出来ます。

看護実践能力習熟段階	JCHO大阪病院 看護部教育計画	自己実現への学び
<ul style="list-style-type: none"> ●より複雑な状況においても倫理的・法的判断に基づき行動する ●より複雑な状況において、最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する ●組織や職種を越えた調整や教育に主体的に参画する 	IV <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決法 ・看護研究 	<ul style="list-style-type: none"> JCHO大阪病院 看護部教育計画 JCHO特定行為研修 専門看護師 認定看護師 院内管理者研修 認定看護管理者研修 教員育成課程 大学院進学
<ul style="list-style-type: none"> ●認識した課題や潜在的リスクの解決に向けた行動を示す ●幅広い視野で予測的判断をもち、組織における安全かつ効果的・安定的な実践のために主体的参画し、同僚の支援を行う 	III <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決法 ・看護研究 ・看護職員教育担当者研修 ・コミュニケーション技法 	
<ul style="list-style-type: none"> ●個別かつ一時的な状況における判断と看護実践を行う ●組織の看護の質向上や組織の新人・学生の指導に関わる 	II <ul style="list-style-type: none"> ・看護倫理 ・臨床推論 ・リーダーシップ 	
<ul style="list-style-type: none"> ●標準的な看護計画に基づき自立した看護実践をする ●専門職としての自身の質の向上を図る 	I <ul style="list-style-type: none"> ・看護倫理 ・臨床判断 ・救急看護 ・認知高齢者 ・入退院支援 ・リーダーシップ ・プリセプターシップ ・リフレクション 	
基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する	新人 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション ・看護過程 ・リフレクション ・フィジカルアセスメント ・救急看護 ・認知高齢者看護 ・入退院支援 ・メンタルヘルス 	

新人から達人へ

新人看護師から一人前になり、中堅、ベテランとキャリアアップしていくためには、一人ひとりが自律し、ゆるぎない意思や目標を持ってチャレンジし続けることが大事。遠回りしたっていいんです。「地域住民の健康で幸福な生活を支える看護」という共通理念のもとで、マイペースでも上をめざして着実に進んでいけば、先輩たちがきっと引っぱり上げてくれます。

ラダー別教育計画 詳細はこちら



安心の地域医療を支える JCHOのスケールメリット

仕事とプライベートを両立しながら、キャリアと学びを継続できる環境をめざし、JCHOでは多彩な支援体制を整備しています。

- 病院間異動 ■ 特定認定支援充実
- 施設間異動
- 福利厚生充実

JCHOのスケールメリット



ヘルシーワークプレイスについて

働き方やライフスタイルは、時代により変化してきます。だからこそ、常に現場のスタッフが自分の力を発揮できるように勤務調整しています。オンとオフの切り替えがしやすく、誰もが生き生きと誇りを持って働き続けることができる、そんな職場で、ぜひ働いてみませんか？



育児休暇取得
働きながら妻と協力して育児を実践

ICU勤務。育児休暇を取得しました。職場の体制も整っており、比較的残業も少ないため仕事が終わればすぐに帰宅しなすべく家族と過ごす時間を大切にしています。



慢性疾患看護(専門看護師)取得のため大学院へ進学

所属する循環器内科・心血管外科での看護を深めるべく、慢性疾患看護専門看護師を目指し学習中。周囲に支えられ仕事・学習を両立しています。

02 2年目の autonomy

2年目以降への学びへの支援

2年目看護師は、1人でできることも多くなる一方で、戸惑いと不安が混在する時期でもあります。そのため、JCHO大阪病院では2年目看護師も継続的な支援体制を整えています。ひとり一人の進度に合わせて支援看護師と共に年間目標、目標達成に向けたスケジュールを作成し、実践に繋がります。集合研修では、ピアサポート、リーダーシップ、入退院支援、看護管理などがあります。また、実践した看護を丁寧に振り返り、経験の意味づけや大切にしている看護を明確にするナラティブ研修も設けています。成長過程にある皆さんの不安を軽減するために、定期的に同期と語り合う場があります。



2023年・2020年入職 ICU



2年目教育計画の詳細はこちら



03 一人前の autonomy

リンクナースの働き

リンクナースは、病棟スタッフのスキルアップや看護の質向上のため、専門分野の知識・技術を身に付けます。また、病棟スタッフと専門・認定看護師といったスペシャリストと専門チームとの連携が円滑になるような役割を担います。主にキャリア4年目以降の看護師が担当し、キャリアアップのきっかけになっています。

04 中堅の autonomy

現場教育担当者の育成

集合教育だけでなく、看護現場でのOJTを通じての教育も充実しているのがJCHO大阪病院の特徴です。自身の経験を振り返り、分析し、振り返ったうえで次の具体的な行動につなげる「リフレクションサイクル(経験学習サイクル)」を活用し、きちんと実践と検証を通じて新人を指導し育てていくことのできるリーダーを育成しています。

看護師としてのキャリアパス

ここまで積み重ねてきた経験や知識をもって、ここからどういう看護師像を目指し活躍していくのか。それぞれが極めたい看護領域や働き方に応じた様々なキャリアパスが用意されています。

- ジェネラリスト
- 教育担当者
- マネージメント
- スペシャリスト
- 進学(大学院)

現場教育担当者

 2018年入職 ICU

医療従事者としての責任感を持つ看護師になってもらうために

医療の現場では自身の行動がよくも悪くも患者さんに影響を及ぼすもの。看護師としてのちょっとした行動にどのような影響・危険が伴っているのかを伝えることを心がけています。OJTでは、自身の成長に気づいてもらえるよう、実践に対して改善点だけでなくよかった点についても必ずフィードバックをしています。

05 達人の autonomy

autonomyを支える看護実践

日本の医療の課題である地域包括ケアシステムの構築に向けて、看護師一人ひとりが自律し、様々な取り組みを行っています。そしてスペシャリストが中心になって、健康講座や、地域連携のための協働に向けた検討会を行い、地域住民の健康で幸福な生活を支えています。



特定行為研修指定研修機関として

地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域で暮らすみなさんの期待に応えることがJCHOの使命。JCHOグループの各病院は特定行為18区分30行為2領域において、厚生労働大臣が指定する研修機関に指定されています。

特定行為研修受講者

創傷処置の実践や血糖コントロールの指導に関わる機会が多くあり、もっとケアの質を高め、業務の幅を広げたいという思いを持つようになり、創傷管理関連の特定行為研修と血糖コントロールに係る薬剤投与関連の特定行為研修を受講中です。

2019年入職
13階西病棟(皮膚科、形成、耳鼻科、眼科)

摂食・嚥下障害看護認定看護師 木下 莉奈

所属している摂食嚥下チームでは、摂食嚥下障害を有している可能性がある患者さんに対し、嚥下内視鏡検査、評価、食事に関する内容について検討します。摂食嚥下チームと病棟看護師との橋渡し役として、食事の摂取場面から食事内容、姿勢の調整、食具等について病棟看護師とともに検討しています。

スペシャリスト

専門看護師	がん看護 精神看護		
認定看護師	皮膚・排泄ケア 救急看護 クリティカルケア 感染管理 がん化学療法看護	がん薬物療法 乳がん看護 新生児集中ケア 腎不全看護 透析看護	脳卒中リハビリテーション 摂食嚥下障害看護 糖尿病看護 認知症看護
特定看護師			

スペシャリストのご紹介はこちら

チーム医療での活躍

患者さんの思いを叶えるために、今どんなチームが必要で、どんな医療やケアを提供するのか。その判断の中心にいるのは、患者さんの一番近くで働く看護師たち。医師や薬剤師など、多職種と連携しながら、多くの看護師がチームリーダーとして活躍しています。

- 感染対策
チーム

栄養
サポート
チーム

褥瘡対策
チーム

フットケア
チーム

排尿ケア
チーム

プレスト
チーム

糖尿病
チーム

呼吸ケア
チーム

緩和ケア
チーム

摂食嚥下
チーム

術後管理
チーム

モニター
アラーム
コントロール
チーム

認知症
ケアチーム

脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師 吉田 文子

脳卒中入院された患者さんの急性期の重篤化回避に努め、患者さんの人生に寄り添った治療・看護の継続ができるよう状態を把握し、チームの要として一貫したケアの提供に努めています。また、栄養サポートチームでも、栄養状態・QOLの改善を目指し多職種で協働し活動しています。

福利厚生

休日・休暇

4週8休制

年次有給休暇初年度20日、他に国民の休日、年末年始(12/29～1/3)休暇

特別休暇

(結婚休暇5日、産前産後休暇、夏季休暇3日、忌引き休暇、

子の看護休暇、介護休暇等)



看護宿舎

独身宿舎あり(規定あり) 間取り1K(23～28平米) 冷暖房完備

病院より徒歩5分 宿舎費6,000～7,000円程度

男性宿舎もあり



保育施設

院内保育園あり

福利厚生・加入保険制度

社会保障：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

福利厚生：財形貯蓄制度、一部企業サービス割引、スポーツクラブ利用割引(要JCHO学会入会)

福利厚生など
詳細はこちら▶



ACCESS

大阪の中心からほぼ1駅圏内
アクセスの良さが魅力です！

- JR東西線 新福島駅(3番出口)から徒歩5分
- 京阪電車 中之島駅から徒歩5分
- JR環状線・阪神電車 福島駅から徒歩10分
- 阪神電車 野田駅から徒歩10分
- 地下鉄 千日前線玉川駅から徒歩10分
- 市バス：大阪駅前より
鶴町四丁目[55]方面「堂島大橋北詰」すぐ
西島車庫前[56]方面「福島西通」徒歩5分
西島車庫前[56]方面「大阪福島税務署」徒歩5分
船津橋[53]方面「堂島大橋」徒歩5分



独立行政法人
地域医療機能推進機構

大阪病院

地域医療支援病院／日本医療機能評価機構認定病院
／大阪府がん診療拠点病院

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-2-78
TEL .06-6441-5451(代) FAX.06-6445-8900

<https://osaka.jcho.go.jp/>



JCHO大阪病院
ホームページ



Instagram
[JCHO大阪病院]



Instagram
[母子医療センター]